

令和2年度 経営発達支援事業評価委員会の開催報告

石岡商工会議所

当所では令和2年度に実施した経営発達支援事業につきまして、外部有識者を交えて経営発達支援事業評価委員会を下記の通り開催致しましたので報告致します。

記

(第1回)

1. 日 時 令和2年12月2日(水) 午後1時55分～午後3時20分
2. 場 所 石岡商工会議所 3階小会議室
3. 出席委員 外部有識者として委嘱した中小企業診断士3名
4. 欠席委員 なし
5. 事務局 専務理事、中小企業相談所長 以上2名
6. 内 容

事務局より、「令和2年度石岡商工会議所経営発達支援事業遂行状況一覧(令和2年9月30日現在)」により、今年度の遂行状況について説明。合わせコロナ禍の相談対応状況についても説明。以上の説明及び各委員に毎月送付している当所会報と折込物も含めて、当所の事業について委員から質問及び評価を受けた。各委員からの質問、評価は次の通り。

【質問事項等】

・全体的な感想として、忙しい中これだけの事業を行っているのは大変なことだと思う。実績も認められる。現段階で未実施の事業が3件あるとの報告であるが、未実施の理由をしっかりと補記しておいた方が良い。また新型コロナ問題があって事業にどのような影響があったのか。セミナー等の参加状況はどうであったか。

(回答) ☞セミナーに関しては、会員のニーズを捉えて集団型のセミナーではなく、個別相談会の回数を増やした。毎月金融相談会を実施、雇用調整助成金個別相談会は2回実施した。参加状況も予約の枠は概ね埋まっており良い結果であった。集団セミナーについてはオンライン型も対応し実施したが、参加状況はいまひとつの印象であった。

・市の事業、特に駅前の活性化事業についての、市とのコラボレーションについてはどのようになっているか。

(回答) ☞中心市街地のエリアについては、中心市街地基本計画第2期が進行しているが、令和3年3月までの5か年計画であり、現在第3期の案について市より提示を受ける予定の状態である。ステーションパークの活用、駅周辺の未利用地の活用、中心市街地の空き家、空き地の活用を含め第3期の中に盛り込む予定。第三セクターの街づくり会社を通じて市と連携して盛り上げていく予定である。特に空き家対策については市に対し、もっと積極的にやってほしいと要望している。

・家賃給付金や持続化給付金の相談は多かったのか。またサポート会場はあったのか。スマートホンやパソコンもない事業所にはどのように支援をしたのか。

(回答) ☞石岡市にも申請サポート会場はあったが、現在は終了してしまっている。給付金の概要や申請方法について支援実施したが、スマートホンやパソコンもない事業所の申請については、土浦にある申請サポート会場を案内している。また給付金に関する相談は発達支援事業の経営分析支援の件数には含めていない。

・需要動向の調査としてアンケートを実施しているとのことであるが、アンケートの結果の最終的な使い道についてはどうなっているか。

(回答) ☞アンケートの結果については、会報やホームページにアップすることと、消費者のニーズの変化について、巡回の中で事業所に案内していき、事業に役立って頂きたいと考えている。

・創業希望者が他の地域で多くなっているとの話を聞いているが石岡はどうか。

(回答) ☞特に今年多いという印象は受けていないが、相談内容として漠然とした内容の相談が多くなっている印象。先般も、副業での創業について全般的な相談を受けた。

・5 年計画の最終年度であり、新型コロナウイルスの影響等、状況の変化を勘案して、事業を入れ替えることは可能なのか

(回答) ☞大きく変えるには変更承認が必要であるが、状況を勘案して追加していくことに関しては問題ないと考えている。随時進化をしていくことは可能であり、その際は当評価委員会に報告し評価を頂きたいと考えている。

・変化をしていくことに対応していくことは大変であり、苦勞が見えるよう記録していった方がよい。従来の目標も大事であるが、新たな状況に対応していくことも必要であると考え。ウェブセミナーについては対応が出来ているか。講師の立場としてリアルとの併用はスムーズでない印象であるが。

(回答) ☞ウェブのみでの実施では難しい印象である。パソコンがない、あっても使い方がわからない事業者も多く、リアルとのハイブリット型が必要かと考える。ウェブに関してはまだまだ環境面等でハードルが高い印象であり、ウェブ活用セミナーの実施やホームページでのウェブセミナー提供により環境を整備していきたい。

【評価】

・全体的にはよく頑張っている。出来ていない部分に関しては理由を整理しておくとうい。

・現時点で、当初の目標とのギャップはだいぶ埋まってきていると思う。このまま実施して欲しい。

・少ない指導員で多くの会員を抱え、充実した事業を実施していると思う。最終年度に向け、新型コロナの影響を踏まえながら、メリハリをつけて、重点項目を決めて実施して欲しい。

(第2回)

1. 日 時 令和3年3月24日(水) 午後2時～午後3時15分
2. 場 所 石岡商工会議所 3階小会議室
3. 出席委員 外部有識者として委嘱した中小企業診断士3名
4. 欠席委員 なし
5. 事務局 専務理事、中小企業相談所長 以上2名
6. 内 容

事務局より「令和2年度石岡商工会議所経営発達支援事業遂行状況一覧（令和3年2月28日現在）」について説明。なお、説明は第1回委員会から変わった部分を中心に説明。その中で今年度実施した「「コロナ禍におけるネットを利用した消費購買動向アンケート」の集計結果を紹介。

次に「令和2年度石岡商工会議所が行った伴走型支援の流れ」をもとに、数字で見る今年度の実績について説明。また今年度が、第1期経営発達支援計画の最終年度であり、「平成28年度からの伴走型支援の実績（令和3年2月28日現在）」を作成し、

5年間の経営発達支援計画全体の進捗について説明。

更に「令和2年度経営革新計画フォローアップ調査結果概要」をもとに、当所が支援し経営革新計画認定をうけた企業の計画実施状況と効果、及び経常利益の伸び率、付加価値額の伸び率から見た計画の実績について説明。

以上の説明をもとに、委員から質問及び評価を受けた。各委員からの質問、評価は次の通り。

【質問事項等】

- ・ 5年間の集大成としてご苦労されたことと推測される。総体としてはよく実施された来たと思う。特に令和2年度はコロナ禍の中、なかなか実施出来ないものもあり大変だったのではと思う。その中で気になったものとして1点目として巡回件数について、目標未達とのことであるが、コロナ禍の中の現状についてお聞きしたい。2点目として事業承継支援について、実績2件とあるが経営指導員の資質向上の面から取組について伺いたい。また3点目として創業計画支援について、達成状況が他の項目と比較して低い印象であるが、創業支援の実態についてお伺いしたい。
- ↳ (回答) ⇨巡回に関しては、例年は巡回スケジュールを立て計画的に巡回をしてきたが、今年度はコロナ禍の影響もあり、必要に応じた巡回としてきた。会員のニーズとしても来店しての相談が増えてきたこともあり窓口対応に注力をした結果でもある。カレンダーの配布と合わせ年末に全事業所巡回については最低限継続した。目標件数は達成できなかったが、コロナの体制に順応した体制が取れたと思っている。2点目として、事業承継支援についての動向については、専門家との相談に指導員も同席・同行して資質向上を図ってきた。3点目として創業計画支援について、創業者の人数的にはほぼ計画通りであったが、計画の作成支援回数は未達となってしまう、継続したアフターフォロー面に課題が残ったと思う。
巡回件数については、コロナ禍の対応マニュアルに対応した結果でもある。窓口に関してはコロナ関連の支援金や給付金の相談が増えてきた現状もある。
- ・ 創業支援者数実績について多い印象であるが、そんなに創業が増えているのか。すべて創業しているのであれば、地域活性化事業の賑わい創出に結びついていない印象であるが。
- ↳ (回答) ⇨支援実績がすべて創業に繋がっているわけではない。
創業塾での支援や、創業に関する事前の相談等も支援実績には含まれており、全てが創業しているわけではない。
- ・ コロナ関連の給付金の問合せも多かったとのことであるが、石岡商工会議所としてはどのような対応をしてきたのか。
(回答) ⇨給付金については、申請の方法や必要な書類の説明、書類の確認等を支援した。また携帯ツールによる申請のサポートも対応したがすべてというわけにはいかず、サポート会場の案内や誘導も実施してきた。
- ・ コロナ禍の購買動向調査のアンケート結果については事業者にどのように還元しているのか
(回答) ⇨アンケート結果をホームページ上にアップし周知を図ったほか、巡回の中で、事業者からネット販売等について相談があった際に活用、還元してきた。アンケート結果をECサイトの活用へ誘導するといったことはしていない。

- ・5か年間着実に実績を上げてきたという印象である。交通量調査の結果の活用についてどのようにしているのか。中心市街地の活性化にどのように役立てているのか
(回答) ☞石岡市の中心市街地活性化基本計画は、現在第2期が終了し第3期目の計画を立てているところである。計画では通行量の増加目標が入っているが、なかなか思う様にはいっていない。通行量の増加が活性化に必要であり今後もしっかり活用していく。
- ・持続化補助金等の支援が増えてきているようであるが、全体的な業務量が増えてきて会議所としてのキャパは大丈夫なのか。また持続化補助金申請先のフォローについてはどのようにしているか。
(回答) ☞採択されなかった事業所については、連絡をするとともに次回申請の希望を確認し事業計画の更なるブラッシュアップ支援をしている。採択された事業所については、補助事業の遂行支援と補助事業の期限管理や実績報告の作成支援を行っている。キャパの部分については余力はないが、現状専門家の先生方のご協力を頂きながら実施している。

【評価】

- ・個と集団の関係をどう整理してリーダーシップを発揮していくかが難しい。中心市街地と周辺とのバランスやもっと違う観点からの支援策があるのでは等、いろいろな意見があると思う。人口減少や人が集まらない状況の改善に取り組んでほしい。
- ・フォローアップをしっかりとやっていくことで会議所の満足度も上がっていくと思う。特に創業支援についての出口は、実際に創業することであると思うので、創業支援者へのフォローアップもしっかり継続して行ってほしい。
- ・地域の発展と個々の発展はどちらが先なのか。石岡市と連動したロードマップがなかなか見えづらかった。伝統がある中心市街地と郊外との関係を考慮した街づくりがポイントではないかと思う。個々の支援と合わせ、市と連動した街づくりに取り組んでほしい。

以上